

帯広刑務所



帯広刑務所の概要



所在地：北海道帯広市
 収容定員：502名
 収容対象：男子受刑者（主に刑期が10年未満で、犯罪傾向の進んでいる者）
 規模：敷地面積 217,680㎡
 うち別府農場 68,760㎡

沿革

明治26年 3月	北海道集治監釧路分監帯広外役所として開設
明治28年 4月	北海道集治監十勝分監として開庁
明治36年 4月	集治監制廃止により十勝監獄と改称
昭和14年11月	帯広少年刑務所として独立
昭和18年 8月	官制改正により帯広刑務所と改称
昭和51年10月	新施設完成し現在地へ移転
昭和56年 6月	別府農場開設
平成19年 4月	釧路刑務所が帯広刑務所の所管となる



十勝監獄正面

施設の特徴

- ・帯広刑務所がある十勝地方は「カラマツ王国」と言われるほどカラマツが多く、関係各所が有効利用に力を入れている地域であり、当所においても、道産のカラマツ材を利用した各種家具作りに取り組んでいます。
- ・また、別府農場では、白菜、キャベツ、たまねぎ、とうもろこしなどの農作物を栽培するとともに、造園技能士などの資格を取得を目指し、農業科職業訓練を開設しています。



カラマツ材を利用した刑務所作業製品



別府農場で収穫した野菜

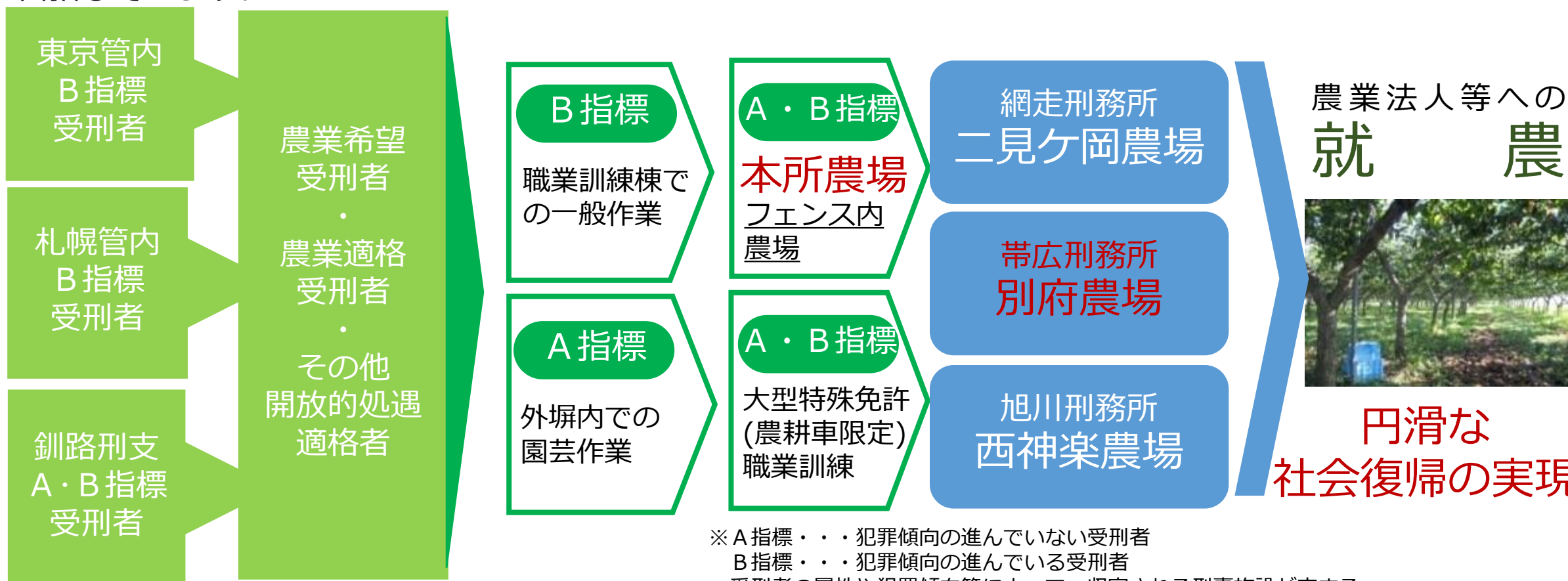
地域と連携した取組

毎年、社会貢献作業のため、構外適格者に指定した受刑者10数名を近隣の社会福祉法人に連れて行き、車椅子磨きや施設周辺の除草、施設建物内の窓拭きや清掃活動などを実施しています。

最近のトピック

道東所在刑事施設による農業を活用した段階的開放処遇モデル

当所のフェンスに囲まれた本所農場を活用して、受刑者を段階的に開放的な処遇に移行させ、将来的には、西神楽農場、別府農場及び二見ヶ岡農場に就業する受刑者全てを、当所本所農場で育成して移送する構想として、本年度から取組を開始しています。農業の盛んな十勝の地域性を活かし、いずれは就農に結びつくことを目指しています。



※ A指標・・・犯罪傾向の進んでいない受刑者
 B指標・・・犯罪傾向の進んでいる受刑者
 受刑者の属性や犯罪傾向等によって、収容される刑事施設が定まる。